選考の実施方法及び合否の判定基準（例）

策定日　　　○○年　○月○日

　訓練実施施設名　○○○○・・・・

訓練科名　　・・・・・・・・・・

* 選考の実施方法（例）

１　筆記

1. 筆記の出題分野、出題数、配点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 出題分野 | 出題数 | 配点 |
| イ　基礎学力を確認する問題  　　・講師の説明や教材における言語・文章を理解する力  　　・実技等で必要となる加減乗除の計算等を行う力 | ○問程度 | ○点 |
| ロ　当該訓練科を受講・修了する学力を確認する問題  ・訓練職種や訓練科の訓練内容に関する基礎知識 | ○問程度 | ○点 |
| ハ　安全に係る注意力  ・図や文字を見分ける力  ・説明をよく聴く力 | ○問程度 | ○点 |

1. 筆記の実施時間　　　３０分

２　面接

1. 面接の質問内容、評価基準、配点

別紙１（参考例）のとおり

②面接の実施時間　　　１０分

③回答記録

別紙２（参考例）のとおり

④面接の実施方法

イ　２名以上の面接担当者が受講申込者１名ずつ面接を行う。

ロ　面接担当者は、○○○部長が適任と認める者から選任する。

ハ　面接担当者は次の態度や心構えで臨むこと。

・受講申込者の人格を尊重し、客観的な視点で評価すること。

・穏やかな表情で接する等、受講申込者がリラックスできるような雰囲気づくりに努めること。

・受講申込者の話は途中で回答を遮らずに最後までよく聴くこと。また、受講申込者の話に関し感想や意見を述べないこと。

ニ　面接の際はあらかじめ定めた質問内容から逸脱した質問を行わない。

ホ　一人あたりの面接所要時間は、おおむね１０分程度とする。

* 合否の判断基準

上記に定める選考を実施した結果をもとに、次のとおり合否を判断の上、訓練実施施設における選考会議において了承を得る。

* 1. 筆記、面接の結果が次の基準をすべて満たす者を選出する。
  2. ①において訓練を受講・修了できる水準にある者のうち、ハローワークから示された受講希望者一覧に付された緊要度の上位者から順に合格とする。
  3. 上記②において緊要度が同じ場合は、選考における評価の高い者を優先する。
  4. 上記③において緊要度及び選考における評価がともに同点の場合は、別紙１の面接評価基準で定める修了見込みにおける評価の高い者を優先する。

※基準（訓練を受講・修了できる水準）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施方法 | 確認項目 | 基準点 |
| 筆　記 | イ　基礎学力 | ○点以上 |
| ロ　当該訓練科を受講・修了する学力 | ○点以上 |
| ハ　安全に係る注意力 | ○点以上 |
| 面　接 |  | ○点以上（※） |

※　ただし、別紙１（参考例）の修了見込み１の質問内容において、０点については、訓練を受講・修了できる水準に該当しない。